
赤潮警報続報 (ヘテロシグマ アカシオ)

鹿児島県水産技術開発センター
令和7年5月23日

鹿児島湾赤潮警報続報 No. 1 - 2

5月23日に当センターが調査した結果、鹿児島湾奥部でヘテロシグマ アカシオの着色域が広範囲化していることが確認されましたので、厳重注意が必要です。

[1] 5月23日の調査結果

鹿児島湾奥部の広い範囲でヘテロシグマ アカシオの着色域が確認され、最高細胞密度は2,525 細胞/mL (鹿児島湾奥中央部)でした。また、珪藻類は全域でほとんどなく、微細藻類が全域でやや多い状況でした。なお、3地点でシャットネラ マリーナが1~5細胞/mL確認されました。

[2] 今後の赤潮発生の予想

5月23日現在、水温は22.9~23.7℃とヘテロシグマ アカシオの好適範囲となっていること、今後、降雨による栄養塩の供給が想定されること、競合種である珪藻類がほとんどないことから、細胞密度がさらに増加し、赤潮が拡大する可能性があります。

各漁協・養殖業者におかれましては、検鏡により細胞密度を把握し、海水の色や魚の状態に細心の注意を払うとともに、餌止めを実施する等の十分な対策をお願いします。

